

城下町広島歴史講座十講(10回)「広島」の戦災と復興

東区総合福祉センター 2008.3.8
宇吹 暁 (うぶき さとる) <広島女学院大学>

はじめに

私の“ひろしま” 「広島」、「ヒロシマ」、「廣嶋」=戦前の広島。1990年ごろから。
「廣嶋」=「戦前の広島」=「城下町」として語られることは少なく、軍都として語られてきた。
「城下町広島の歴史講座」、「二葉の里歴史の散歩道」=新しい動き

I 広島」の戦災

「原爆被爆」対象のさまざまな捉え方

用語	被爆対象	メモ
A 被爆者	個人	「原爆障害者」・「原爆犠牲者」・「原爆被害者」・「原爆被爆者」など
B 被爆都市	都市	広島平和記念都市建設法・長崎国際文化都市建設法(1949年)
C 被爆国	国	1954年ごろから一般化。ビキニ水爆事件以後の国会論議。
D ヒバクシャ	人類	*1970年代後半から海外の原爆被爆者、放射線被曝者への関心が高まる。 *チェルノブイリなどの原発事故(1986年4月)被災者、核実験場被曝者(ネバダ・セミパラチンスク・ロブノールなど)。

広島原爆戦災誌(全5巻)・1971年8月~12月刊行 テキスト版
原爆死没者追悼平和祈念館、広島平和記念資料館などの平和データベース

広島」の犠牲者数 ?-約8万、約14万、20数万

13万~14万説の根拠

広島市・長崎市原爆災害誌編集委員会『広島・長崎の原爆災害』(岩波書店、1979年)

広島 35万人前後が被爆うち13万人が11月はじめまでに死亡

長崎 27万人 6~7万人が死亡

1945年11月1日の人口調査とそれ以前の人口調査を比較し、軍人以外の欠損を求めた。

約8万説の根拠 1945年11月30日現在広島県警察部調査

死者 7万8150 行方不明 1万3983 重傷者 9428 軽傷者 2万7997

計 12万9558人 一般罹災者 17万6987人合計 30万6545人

20数万説の根拠		1950年国勢調査付帯調査による原爆生存者数	
被爆当時の市内人口	約25万	市内	9万8102
軍関係者	約8万	県内	2万6864
市外からの来広者	約9万	県外	3万2609
計	約42万	合計	15万7575

約42万-15万7575-アルファ=20数万

経済安定本部「太平洋戦争による我国の被害調査」

1947(昭和22)年7月から開始。広島・長崎の原爆被害については特別の配慮をはらう。
この調査は、おおむね中央の各省からの報告をもとに作成。調査実務の中心にあった企画調査課は、

1948年1月13日から2月4日にかけて広島・長崎を訪れ、県・市の関係者や市内の主要な企業関係者に資料の提供を求める。

占領軍への配慮から公表はされなかったが、両市の原爆被害についての特別な報告書「広島・長崎に於ける原子爆弾に依る物的被害」が、1948年6月1日付で作成。この報告書は、原爆による物的被害を建築物・道路・港湾河川など14項目から整理した包括的なもの。また、この調査にあたって、市内の各機関から提出された資料には、それまでの広島県・市の報告には見ることのできない貴重なデータが含まれている。

広島県の報告には、県自身の被害とともに宗教団体や史蹟名勝・国宝などの被害報告が含まれている。宗教団体の建物被害の状況は次表の通りである。これにより、市内の81の神社・74の神道教会・145の寺院・58の仏教教会・24の基督教会合計382の宗教施設の建物が原爆による大小の被害を被ったことを知ることができる。

神社・寺院・教会の建物被害状況

被害程度(棟数)			計	被害程度(施設数)			計
全	中	小		全	中	小	
47	13	34	19781	36	8	37	81
52	2	38	92	44	1	29	74
428	13	115	556	115	3	27	145
108	11	78	197	32	3	23	58
40	4	38	82	11	1	12	24
675	43	303	1021	238	16	128	382

出典：広島県社会教育課報告

史蹟では、「明治二十八年戦役広島大本営」(国有)・「明治天皇広島行在所」(国有)・「明治天皇広島行幸所浅野泉邸」(県有)が全焼、名勝では、「縮景園郷土館」(県有)が全焼、国宝では、「広島城天守」(国有)が全焼(実際は全壊であり、焼失はしなかった)、「不動院金堂」(私有)が4割の被害を受けている。

都市別人的被害

都市名	被害者総数(人)	対全都市比(%)	死亡(人)	対全都市比(%)	対昭和19年人口比(%)	
					被害者総数	死亡
東京都	211804	33.6	95374	34.0	3.2	1.4
広島市	129558	20.6	78150	27.8	38.5	23.2
長崎市	65680	10.4	23753	8.5	24.3	8.8
大阪市	35467	5.6	9246	3.3	1.3	0.3
神戸市	23353	3.7	6789	2.4	2.5	0.7
横浜市	18830	3.0	4616	1.6	1.8	0.4
名古屋市	18759	3.0	8076	2.9	1.4	0.6
(小計)	503451	79.9	226004	80.5	-	-
その他	126547	20.1	54701	19.5	-	-
全国	629998	100.0	280705	100.0	-	-

II 広島の復興

A 被爆者

合同慰霊祭

1946年（昭和21年）8月6日、広島宗教連盟、慈仙寺鼻の戦災供養礼拝堂で慰霊祭を執行。平和記念日の諸行事の中で、翌年から現在まで開催され続けている唯一のもの。

1947年慰霊祭＝午前7時に仏式から始まり、キリスト教、教派神道、神社庁式の順に正午まで続く。

原爆供養塔の現在

納骨者名簿全国で揭示

被爆者遺骨13体分 広島市、似島で手掘り調査 『中国新聞』2004/6/25

広島市南区の似島で二十四日、原爆死没者の遺骨を捜す市の手掘り調査が始まり、頭蓋（ずがい）骨も含め推定十三体分、約三百点の骨が出土した。遺品とみられる財布やコインも見つかった。

原爆死没者名簿

1951年（昭和26年）5月、広島市調査課、原爆死没者調査を実施。

目的＝7回忌（51年8月6日）を期して慰霊堂に合祀するための全死没者名簿作成。

広島市は、1951年の調査に先だって、死没者の総数を20数万人と想定（「中国新聞」51年4月14日）。1951年の調査の結果＝6万人にも達せず。53年7月、広島市調査課長、死没者数は10数万が妥当との見解を発表（「中国新聞」53年7月22日）

名簿記帳対象(当初)

作成当時＝被爆時またはその直後の死亡者。その後、被爆後数年経過した時点での死没者も記帳対象と考えられるようになる。1954年の式典での追加記入は212人。1957年には22人、58年には34人、59年には38人（原爆病院で死亡した人）が、過去1年間の死没者として名簿に追加。追加記帳のうち、過去1年間の死亡者数は、1967年までは、100人未満、68年は121人

名簿記帳対象(1969年以降)

広島市が市内の死亡者の中から被爆者を調査して追加。追加記帳が1,000人を超えるようになる。1970年葬祭料支給が始まる。2007年8月6日の追加 5221人 総数 25万3008人

原爆手記掲載書誌数の年別推移

計3677冊 計38955編

原爆訴訟 日本被団協ホームページ

- 1【東京原爆裁判】 1955年（昭和30年）4月、広島の下田隆一さんら3人
- 2【桑原忠男原爆訴訟】 1969年3月、 3【孫振斗訴訟】 1972年3月
- 4【石田明原爆訴訟】 1973年7月 5【原爆松谷英子裁判】 1988年9月
- 6【京都原爆訴訟】 1987年広島の高安九郎（仮名） 7【在韓被爆者（郭貴勲）手当訴訟-大阪-】 1998年10月
- 8【在韓被爆者（李康寧）手当訴訟-長崎-】 1994年7月 9【三菱広島徴用工訴訟】 1995年12月 第2次大戦中、日本に強制連行され、三菱重工業広島造船所および広島機械製作所で被爆した韓国人46人
- 10【東数男原爆症裁判】 1999年6月29日、11【安井晃一原爆症裁判】 99年10月1日
- 12【広瀬方人さん提訴】 2001年9月11日 13【在韓被爆者（李在錫）手帳訴訟】 2001年10月3日
- 14【在ブラジル被爆者（森田隆）裁判】 2002年3月1日
- 15【原爆症認定集団訴訟】 2003年4月17日、札幌、長崎、名古屋の各地裁へ第1次提訴。
- 16【在アメリカ被爆者裁判】 2003年12月17日、在アメリカの二人
- 17【在韓被爆者（崔季澈）健康管理手当訴訟】 2004年2月22日

B 被爆都市

広島市勢要覧の表紙

戦災復興土地区画整理事業(西部復興) 施行者：広島県知事

一工区 施行面積 約 477.0ha

施行期間 昭和 21(1946)年度～昭和 44(1969)年度<清算期間を除く> 総事業費 15 億 8300 万円

二工区 施行面積 約 33.8ha

施行期間 1946 年度～1971 年度<清算期間を除く> 総事業費 18 億 3500 万円

広島平和戦災復興土地区画整理事業(東部復興) 施行者：広島市長

施行面積 約 582.5ha

施行期間 1946 年度～1969 年度<清算期間を除く> 総事業費 33 億 6800 万円

記念都市建設法

1949 年 5 月に衆参両院を満場一致で通過したこの法案は、7 月 7 日の広島市民の投票で 9 割を超える支持を得た上で、原爆記念日の 8 月 6 日に公布。

第 1 条「恒久平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設する」

平和公園

平和公園の設計案＝広島平和記念都市建設法に基づいて、広島市の都市復興が始まる。

爆心地の中島地域への平和公園建設が決まる。設計が公募された結果、丹下健三東大助教授グループ案が 1 等に入賞。

現在の平和公園は、このプランに基づいているが、少し異なるところがある。

広島市勢要覧(1948年版)

本市は原爆のため観光資源も観光施設も壊滅したのであるが廃墟の中から吾々の新しい観光資源が取り上げられた。

・即ち原爆記念保存物である。爆心地、元安橋、産業奨励館、相生橋、商工会議所、護国神社跡、大本営跡、芸備銀行、大阪銀行、山陽記念館、国泰寺の石塔、県庁跡、御幸橋ガスタンクがそれである。

・今後日本に来遊する国際観光客の殆ど全部は、広島市の原爆遺跡探訪をその観光スケジュールの主要部分とするであろう。

広島市勢要覧(1949年版)

平和記念館 原子爆弾による本市災害の一切の資料を一室に蒐集して 8 月 6 日を想起し、人類の恒久平和を祈念するため陳列室、平和塔等を有する記念館を建設して平和広島の「シンボル」とする計画である。

「廣嶋」と厳島 大広島市街地図(1933年)

似島陸軍検疫所(広島・宇品・名勝)記念写真帖 1939(昭和14)年4月25日発行

似島陸軍検疫所記念写真帖＝1. 御用船より似島検疫所に向ふ凱旋部隊 <中略> 18. 乗船の実況

宇品＝ 19. 宇品港棧橋 20. 宇品御幸橋 21. 向宇品観音堂 〃. 向宇品観音堂全景 22. 宇品御幸通 1 丁目 〃. 宇品新道路 23. 宇品千田銅像 〃. 向宇品別世界

広島名所＝ 24. 広島日清戦役記念史蹟大本営跡 25. 広島城天主閣 26. 広島駅 27. 広島市庁舎 〃. 広島浅野泉邸 28. 広島招魂社 〃. 広島比治山旧御便殿 29. 広島饒津神社 〃. 広島金座街革屋町 30. 広島県立商品陳列所 31. 広島相生橋及丁字橋

広島市勢要覧にみる観光(広島史蹟、名勝等)

広島市は日本三景の一つである厳島を控へ、国立公園随一、詩の瀬戸内海に面し、デルタ上を六つの清流が貫き、山紫水明で、而も海陸交通の便極めてよく、北に行っては桜と鶴飼の三次、つつじと、スキーの道後山、及び芸北の仙境三段峡等があり、又泉都別府、道後に船の旅を楽しむもよく、而も原子爆弾により、国際的に有名化し、世界に冠絶した観光都市として内外人の訪客を受けようとしつつある。殊に終戦後は、軍国の黒衣に包まれていた瀬戸内海島

の要塞地帯の景勝地を、あます所なく開放し、更に貿易港としての指定を受けることになれば、観光上喜びにたえないところである。 『広島市勢要覧 1947（昭和22）年版』

千田廟と千田男爵銅像＝ 往年日本の大玄関として名声のあった宇品港は、明治17年時の県令千田貞暁によって起工せられ、工費30余万円5カ年の歳月を経て完成を見た。 其の後4年日清戦役勃発するやこの宇品港は一躍重要基地として国運の進展に寄与し、次々の事変戦役にも重要役割を果たしてきた。 市民は千田県令の偉大なる事業を偲び大正4年宇品町御幸通りの中央に高く広島湾の海波を望んで銅像を建立し、後更に千田廟を祀り毎年4月盛大なる千田祭を執行して来たのである。

不動院(牛田町)＝ 天正2年僧行基の開基と伝へられ、当時は行基自ら観音像を彫刻し、七堂伽藍を創建して新日山蓮華王寺と称し、方7町12の末寺を備へていたと云う。その後大永年間兵火にかかって荒廃したが、安国寺恵瓊豊太閤に請うて再建し不動院と称し、豊太閤、朝鮮征伐の途次当院に滞陣した。背後の丘には、豊太閤及び福島正則の遺髪塔がある。 不動院は、現に古義真言宗仁和寺の末寺、金堂は天文年間の建立、天井画龍の落款に「天文庚子冬十月日僧永怡筆」とあり純乎たる唐様禅宗建築堂層入母屋造で、一見鎌倉円覚寺舍利殿を大きくした様なもので、室町時代禅宗建築の傑作の一に数えられている。尚当院には豊臣時代の古文書多数所蔵されて居り、豊太閤と縁故の深い事を物語っている。

頼家の墓(比治山本町)＝ 頼家一門の門主たる人々の墓は、比治山公園多聞院付近にある。春水、梅颯、聿庵、杏坪等20数基に上るが、山陽三樹三郎の墓はここにはない。春水は竹原(賀茂郡)の人、山陽の父で山陽3歳の時招かれて藩儒となり、大阪より移って7代重晟、8代斎賢藩主に仕へた朱子学者である。 杏坪は山陽の叔父、春水と同じく朱子学者で、始め広島藩に仕へ後自ら願出で三次奉行となって令名高く、芸藩通誌の著者として著名である。 梅颯は山陽を生み、山陽を育しみ、山陽を大成せしめた賢夫人、人の子の真の母親として亀鑑又立派な学者であった。 聿庵は山陽の長子で春水の跡を継ぎ、広島藩に仕へた。 『広島市勢要覧 1948（昭和23）年版』

東照宮＝ 市内尾長町の中腹に在り天保年間藩主浅野光行の創建に係り徳川家康の霊を祀っている、境域5300平方メートル、社殿は南面し石階51段である。往時は社殿壯麗を極め祭礼儀頗る盛大であったとゆわれている。

頼山陽文徳殿＝ 比治山公園の山腹に在り、頼山陽の百年祭を記念するために広島市単独の事業として計画し山陽文徳殿建設賛賞会の努力により完成、昭和9年10月15日の竣工である。 頼家の墓 頼山陽の父春水を初め頼家一門の墓は比治山公園多聞院付近にある。 『広島市勢要覧 1950（昭和25）年版』

三滝観音道場＝ 市内三滝町の山林中にあり1000年の昔、弘法大師唐国より帰朝の御当地に巡錫、聖観音菩薩の種字を天然石に刻し岩窟に安置した。爾来其の靈験の著しいことと四季山水の風致幽邃雅趣の深さにより一般信徒の杖引く者絶えず、現在は水害、原爆の被害により道場の荒廃甚だしくこれが修築工事中である。

『広島市勢要覧 1951（昭和26）年版』

似島＝＜解説略＞ **広島城跡＝**＜解説略＞ **国泰寺墓地＝**＜解説略＞ **比治山公園＝**＜解説略＞ **長寿園＝**＜解説略＞

『広島市勢要覧 1952（昭和27）年版』

来広観光客数及び推定消費金額（昭和27年中、推定総数）

（国鉄、汽船、郊外電車、バス調）

外来客区分	人 員	1人平均消費金額（円）	金額（円）
総数	1157420	—	1243821640
県内客	866757	1000	866757000
県外客	289013	1280	369936640
ハワイ等観光客（39団体）	672	4000	2688000
国外観光団（4団体）	450	4000	1800000
国外個人観光団	528	5000	2640000

C 被爆国

被爆者対策

1957年4月 原子爆弾被爆者に対する医療等に関する法律施行

1968年9月 原子爆弾被爆者に対する特別措置に関する法律

1995年7月 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律

被爆者手帳所持者数

1957年度末 20万0984人、1980年度末 37万2264人（ピーク）

2003年度末 27万3918人

死亡したら返却することになっているのに 1957年から80年度まで増え続けた理由

= 「メリットが無い」 → 「徐々に改善された」、被爆者とされる範囲が拡大された

被爆者対策予算(厚生省)

年度	予算（円）	備考
1957年度	1億7495万	原爆医療法施行年
1998年度	1637億	ピーク。1957年の936倍
2005年度	1566億	

被爆者対策予算の特徴

単なる第2次世界大戦の被害であれば、年とともに対策に要する予算は減るはずなのに、年を減るにしたい、増加していることが、原爆被爆者対策予算の大きな特徴。

戦争病者戦没者遺族等援護法（旧軍人・軍属が対象）による予算

1957年度	71億	0.62%	率で最高
1987年度	1576億	0.29%	額で最高
1995年度	1211億	0.17%	
2005年度	570億		

原爆死没者追悼平和祈念館

小泉厚相の発言、開設準備検討会最終報告

平和記念式典 『平和記念式典の歩み』 1992年刊

平和宣言 = 「人類絶滅観」

第1回（1947年）からマコミが高い関心を寄せる。被爆10周年 全国からの参加者

1960年皇太子（現在の天皇）参列。被爆20周年前後 閣僚の参列

1971年4月天皇来広、8月佐藤首相参列。1979年～国庫補助

広島平和記念都市建設法

広島平和記念資料館 世界平和記念聖堂 重要文化財に

平成18年(2006年)7月5日、わが国の戦後建築物としては初めて、国の重要文化財に指定。広島平和記念資料館：丹下健三が設計し、国際的に高い評価を受けた最初の戦後建築であり、同氏の出発点となった作品。

平和記念公園 2007年2月6日、国の名勝に指定

D ヒバクシャ=人類

原爆ドーム保存

広島県議会意見書（1950年11月29日）

元県立産業奨励館跡を史蹟指定方について（理由）

広島は原爆による未曾有の被災を受け、全世界の同情と注視を集めているのであるが、被爆の中心地に所在している元県立広島産業奨励館は、被災の惨状を物語る唯一の史蹟とし残存し、その後五ヶ年風雨のため朽腐の度甚しく、まさに倒壊にひんしてあり、あまつさえ鉄材の物価騰貴のため、鉄の盗難又続出し、その保存はまことに遺憾な現状にある。

依って右の被爆建築物を文化財保護法に基く史蹟として指定し、更に原爆に関する諸資料及び記念物をドーム内に蒐集陳列し、県民は勿論、広く観光に来遊する内外人の観覧に供し、よい記念としてその保存に十全を期し、平和広島建設は申すに及ばず世界平和の象徴とするよう早急に措置せられることを要望するものである。

保存運動(発端)

1964（昭和39）年12月22日、広島の3つの原水禁団体（原水協・原水禁・核禁会議）を含む11の平和団体代表、浜井信三広島市長に原爆ドームの永久保存を要請。この要請は、原水禁運動が分裂して以来はじめての3団体の共同行動。市長、11団体の要請に対し、「来年度予算案に調査研究費を計上して、専門家に保存方法を研究させる」と、初めて保存の意志を明らかにする。（『中国新聞』1964年12月23日）

原水禁・被爆者関係11団体要請書(抄) 1964年12月22日

しかしながら、人類最初の原爆の記念物である広島の遺跡は、二十年の歳月の中で失われ消し去られ、現在辛じて残されているのは、原爆ドームがほとんど唯一のものとなっています。

紀元前の戦の跡を物語るトロヤの遺跡、近代戦争の犯した残虐さの限りを示すアウシュビッツ収容所の残忍なまでに生々しい証拠物にも劣らず、広島の原爆の遺跡は、永く人類の歴史の中に残されなければならない重要な記念物であります。

浜井信三広島市長の見解

被爆者の中にも、原爆ドームには両論ありましてねえ。早く忘れたい、あれがあると町に出るのが苦痛だという人もあったんです。まあ、最近、あの建物を解いて組み直す必要があるという専門家の意見もあるんですが、私らはそんなことは必要ない、あのままでいいという気持ちなんです。置いておいても十年ぐらいはなくなるものでなし、終局的には次の世代の人が決めればいいですねえ（注＝保存調査のために今年度、市は百万円の予算を計上）。

私の原則論は、当時のものはとり去り、資料的なものは資料館の中に入れて、そして政府が”白書運動”を取りあげれば、それは結構なことで、ぜひ手をつけてもらいたいということです。出典：『週刊新潮』1965年6月5日号

浜井広島市長「原爆ドーム保存の訴え(抄)」 1966年11月1日

あの日以来、かろうじて生き残った者たちを先頭に、幾多の苦難を越えて広島の復興は進められ、広島は今や平和を象徴する都市として回生し得たのであります。しかし、そのことによって、原爆の跡はほとんど取り除かれ、現在残されているのは、いわゆる「原爆ドーム」のみとなりました。その事実からして、この原爆ドームこそは、広島の惨害を記憶し、それを語る基点としてはまことにふさわしい記念物であります。もちろん、わたくしたちは原爆ドームが、人類史上類例もない大惨禍を実証するには余りにも小さすぎることを知っております。

原爆ドームの世界遺産化

1996. 11. 29～30 世界遺産委員会ビューロー会議、メキシコ・メリダで開催。原爆ドームが審議される。

12. 2 委員会、メリダで開会。

12. 6 原爆ドームと厳島の世界遺産への登録が決定。（メキシコ現地時間5日）

1996. 12.5（現地時間）国際記念物遺跡会議（ICOMOS）による文化遺産の説明。

中国代表の発言＝登録の決定に必要な会場のコンセンサス（合意）には参加しない。

午前9時33分、コンセンサスによりドームの世界遺産が決定。

アメリカ代表＝この合意に参加しないことを宣言する声明を発表。

出典：朝日新聞社編「原爆ドーム」

平和記念施設あり方懇談会

2004年7月～2005年6月 広島 4回 東京 4回

平山郁夫委員：釈尊誕生の地ルンビニ、 飯田喜四郎委員：ギリシア・ローマの遺跡

山折哲雄委員：エルサレムの嘆きの壁、 横山禎徳委員：サンチアゴ・デ・コンスポテラ

被爆60周年 「枠組み」に大きな変化はなし＜原爆ドームの世界遺産化に伴い、原爆被害を世界の歴史の中にどう位置づけるのかの検討が始まったことを示すもの＞。

＜平山委員＞

これは根幹に関わることだが、日本の遺跡の保存の仕方は、例えば奈良でも、あるいは海外でお釈迦さんの生まれた土地ルンビニに行っても、皆、公園化している。奈良でも石舞台の所に花や芝生を植えて道を造って、これでは遺跡ではない、破壊である。ドームを見ても芝生があって最後に瓦礫がある。なぜ瓦礫を残さないのか。当時はこんな綺麗ではない。阿鼻叫喚、地獄があった訳だが、それを知らない今の世代の人が見たらどう思うだろうか。

過去の論議の資料で以前の市長が「火事になってもこの程度は壊れる」と言ったという記録があったが、まさしくそうである。この遺跡をどう扱うかは、アウシュビッツや色々な施設と比べてみても、姿勢が問われると思う。

日本人は優しいところがあるから、平和的にやろうということならまた違ってくる。何を残していくのか、その精神とメッセージをどう伝えるのか。ただし構造的、物理的に限界があり、現状維持ではすぐ壊れるので、可能な限りガッチリと修理し、耐震構造にしても同じだが、それをどう景観と結びつけるか。その辺を根本的に議論したらどうか。

おわりに ー被爆体験の歴史化ー

陸上自衛隊広島市内パレード。1962年～。1965年平和公園使用計画。反対運動起こる。73年までパレード実施。＜大和ミュージアムや岩国米軍基地との関連で＞

陸上自衛隊第13旅団（安芸区矢野町・安芸郡海田町）。1939年旧陸軍の物資補給所。1950年警察予備隊駐屯地。1962年、陸上自衛隊第13師団。中国5県と四国4県を担当。1999年3月第13旅団。中国5県。

政令指定都市＝広島市 1980年4月1日。

五大都市（大阪、名古屋、京都、横浜、神戸）＝1956年9月1日、北九州市 [1963年](#)。 [札幌市](#)、[川崎市](#)、[福岡市](#)。 [72年](#)。 [仙台市 89年](#)。 [千葉市 92年](#) [さいたま市 2003年](#)。 [静岡市 2005年](#)。 [堺市 2006年](#)。 [新潟市](#)、[浜松市 2007年](#)。

第12回アジア競技大会 1994年10月2日～10月16日 広島 首都以外では初の開催

1951年、[インド](#)の提唱により始められた、[アジア](#)の国々のための総合競技大会。

ピースキャンドル 1997年8月6日 広島青年会議所、ひろしま点灯虫の会 ＜ライトアップ＞

ワールドサッカー [2002年5月31日～6月30日](#)

日本では1993年1月に国内開催都市候補地を選定＝札幌 宮城 新潟 茨城 埼玉 横浜 静岡 大阪 神戸 大分

GROUND ANGEL ライトアート 2005年12月16日～12月25日 広島平和記念公園（資料館前広場）

岡本太郎『明日の神話』＝『太陽の塔』の制作と同時期の、1968年から1969年に描かれた。

2003年9月、メキシコシティ郊外の資材置き場で発見

折りづるみこし 2007年5月のひろしまフラワーフェスティバル（FF）に初登場

主要国(G8)下院議長会議（議長サミット）＝2008年9月に広島市内で開催。

復興と復元 被爆建造物、頼山陽記念館＋旧日本銀行広島支店、市民球場＝小堺、伝統的建造物群保存地区、

歴史へのこだわり 学都、広島大学の東広島移転、広島大学霞キャンパス開発史、長崎

近代化遺産 呉との対比